

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	B：「責任ある研究とイノベーション」の概念と「社会にとっての科学」の理論的実践的深化
研究テーマ名	生命・環境技術の社会実装に関する先端融合研究—21世紀型参加のビジョンと試行—
研究代表者	松田 毅
所属機関・部局・職	神戸大学・大学院人文学研究科・教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>生命・環境科学の研究者を交えた共同討議を通して、人文社会科学の専門知のスタイルの確立を目指すという目的のもと、各年度の研究計画は着実に実施され、研究成果を取りまとめた英文書籍の出版も予定されており、一定の成果を上げることができた。人文社会科学分野の研究プロジェクトとしては、短期間に比較的多くの研究業績を生み出したという点は評価に値する。しかし、本来望まれる、異分野の研究者が協力して同一の課題や事例に関して論文や著書を執筆するような成果はあまり上がっていない。この点について、採択時に付された、「本プログラムが意図している異なる学問分野の研究者が連携をとって、全体として総合性を視野に入れた共同研究を行っていけるように研究実施体制を検討してほしい」、という意見は必ずしも適切に反映されたとは言えない。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、期待どおりではないが一定の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い